

平成23年度幸区区民会議

安心・思いやり部会経過報告

平成23年6月29日

1

1. 平成22年度の総括

■ 新規テーマの取り組み

● 「高齢者を対象とした交流の場づくり」の実施

・(独居、引きこもりなどの)高齢者との交流を目的として、何らかのイベント(落語など)を実施し、交流や外出の促進を図る。

・上記イベントの参加者同士のより一層の交流を促進するため、区内の公共施設などを活用したイベント(昼食会など)を開催する。

● まずは問題点や課題の把握が重要であることから、高齢者の実態調査を行う。

1. 平成22年度の総括

■ 継続テーマの取り組み

- 「夢見ヶ崎公園の魅力発信事業」の推進
・ 夢見ヶ崎公園の魅力発信を目的として、特にソフト面での取り組みを検討・実施していく。

専門部会における検討

- ・ 第1回専門部会 平成23年5月11日開催
- ・ 第2回専門部会 平成23年6月1日開催

2. 専門部会における検討 (1) 高齢者を対象とした交流の場づくり

(1) 「高齢者を対象とした交流の場づくり」の具体的な検討経過

部会では、「高齢者を対象とした交流の場づくり」として、想定する参加者や実施するイベント、交流のための場などの検討を行うとともに、「高齢者の実態把握(調査)」についても検討を進めてきた。

2. 専門部会における検討 (1) 高齢者を対象とした交流の場づくり

高齢者の現状把握のための実態調査の検討経過 (1)

民生委員を対象とした「高齢者の実態把握のためのアンケート調査」の実施を検討、アンケートの案を作成し、2月21日の民生委員会長会の場で実施の交渉を行った。

しかし、個々の民生委員への負担が大きいこと、実際に取り組みを進める中でも民生委員側に負担がかかると想定されることから、協力が得られなかった。

このため区民会議では、高齢者等を対象に独自に調査(アンケートの他、ワークショップ等の開催なども想定)を行っていくことも含め、検討を継続した。

市議会議員会 民生委員に対する高齢者の実態調査 アンケート(案)

【調査対象】区民生活の向上に資するため、民生委員の生活状況を把握し、必要に応じて支援を行うこと。

【調査項目】

① 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

② 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

③ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

④ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑤ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑥ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑦ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑧ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑨ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑩ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑪ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑫ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑬ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑭ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑮ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑯ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑰ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑱ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑲ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

⑳ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉑ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉒ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉓ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉔ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉕ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉖ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉗ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉘ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉙ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉚ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉛ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉜ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉝ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉞ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㉟ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊱ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊲ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊳ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊴ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊵ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊶ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊷ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊸ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊹ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊺ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊻ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊼ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊽ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊾ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

㊿ 民生委員の生活状況について、以下の項目に回答してください。

2. 専門部会における検討 (1)高齢者を対象とした交流の場づくり

高齢者の現状把握のための実態調査の検討経過 (2)

幸区における高齢者の実態を把握するため、以下のような既存の調査結果を収集し、今後の取り組みの検討の参考とした。

- 1) 川崎市高齢者実態調査(一般高齢者調査)結果
 - ・健康状態、地域との関わり、不安・困りごと、必要とする情報など
- 2) 平成17年国勢調査結果(幸区に関する部分)
 - ・幸区における高齢単身者の比率・高齢単身者人口
- 3) 幸区区民アンケート調査結果
 - ・高齢者対策として必要と思うもの

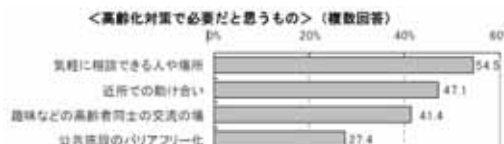
7

2. 専門部会における検討 (1)高齢者を対象とした交流の場づくり

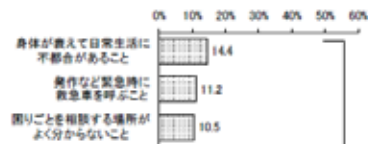
高齢者の現状把握のための実態調査の検討経過 (2)

- ・区民アンケート結果では、「気軽に相談できる人や場所」「近所での助け合い」「高齢者同士の交流の場」へのニーズが高い。
- ・また、高齢者実態調査(市全体を対象)の結果では、日常で困っていることがあるとする高齢者は約4割存在し、「身体の衰え」「緊急時に救急車を呼ぶこと」「困りごとを相談する場所がわからないこと」などが上位となっている。

(出典: 幸区区民アンケート結果)



(出典: 川崎市一般高齢者実態調査結果)



8

2. 専門部会における検討 (1) 高齢者を対象とした交流の場づくり

「高齢者を対象とした交流の場づくり」の検討経過

昨年度までの検討の結果をまとめると、下表のようになっている。この内容を踏まえ、今年度の部会において、継続して議論を行った。

項目	詳細
参加者	・独居など的高齢者 ・これらの人を「引っ張り出す」元気な人 子供など多世代の参加が必要との議論が深まる
メインイベント	・落語、囲碁、カラオケ、手芸・工作、軽い運動など 区民会議委員のネットワークを通じて実施主体に協力要請
実態の把握	・簡易なアンケートの実施 ・「困っていること」を話し合うワークショップの開催 など
交流イベント	・食事会などの開催
場所	・老人いこいの家などの公共施設(幸市民協働プラザ、幸市民館日吉分館なども想定)

9

2. 専門部会における検討 (1) 高齢者を対象とした交流の場づくり

「高齢者を対象とした交流の場づくり」の検討経過

具体内容の検討にあたって、取り組みの目的及び展開の方針を整理し、委員の意見を踏まえて、以下のように再整理した。

項目	内容
目的	・多様な世代の参加を基本とした「交流」を通じて、独居等の高齢者の不安の解消、生きがいの創出、心身の健康の増進を図ること。
展開の方針	・独居等、心・身的な問題を抱える高齢者の外出や交流の促進を図るためには、適切な社会参加の機会を提供していくことが重要。 ・そのため、子供など、多様な「元気な」世代との交流を通じ、「元気が元気を繋ぐ」よう、高齢者を対象とした取り組みを実施。 ・交流を通じ、高齢者等が日常生活において、どういったことで困っているのかを把握し、今後の活動に反映させる。 ・具体的な取り組みの方向性としては、特に、今回の東日本大震災の発生を踏まえた、「公助の限界・自助の自覚・共助の重要性の再認識」を念頭に置き、独居等の高齢者の安全・安心に資するものをテーマとして実施していく。

10

2. 専門部会における検討 (1)高齢者を対象とした交流の場づくり

(各委員からの具体的な提案)

取り組みの具体的な内容を詰めていくため、各委員が提案を行い、この提案内容を踏まえ、更なる議論を行った。

(提案の内容)

委員名	提案の概要
土倉委員	・モデル地区を選定して企画を立てて実行。 ・町内会を中心に各地区社協・各地区民児協・老人クラブ等の協力を得る。
三浦委員	・今後の取り組みには、現在の区民の最大の関心事と想定される「今後想定される震災の規模と被害予測」「大災害発生時の公的機関による支援・救護体制」「電力不足に対する効果的対応策」等の視点を踏まることが必要。 ・「中学生の参画」も重要で、区内の中学校の授業の一環で、保護者・地域住民も参加したフォーラムの実施が有効。
酒井委員	・区内3地区に分けて拠点を設け、各地区の小中学校と老人会による交流の場づくりをしてはどうか。

11

2. 専門部会における検討 (1)高齢者を対象とした交流の場づくり

(提案の内容)

委員名	提案の概要
松脇委員	・各世代が弱者・高齢者を支援する目的で交流の場づくりを行うことを提案。 ・取り組みの方向性として、「大震災の発生を踏まえた高齢者の弱者支援のあり方」を踏まえるべき。
林委員	〈屋外における場づくり：男性向け〉 ・公園を多世代が集まる場として利活用できないか。 ・公園管理主体と子供の遊びを支援するグループが連携し、子供向けの外遊びの出前を実施する。 〈屋内における場づくり：女性向け〉 ・老人いこいの家で活動する手芸サークルなどに呼び掛け、布の遊具づくりの講座を行う。 ・終了後、遊具の貸し出しや遊具で遊べる日等を作り、いこいの家に親子で集ってもらい、交流する。 ・中学生の職業体験・ボランティア体験を受け入れる。

12

2. 専門部会における検討 (1) 高齢者を対象とした交流の場づくり

「高齢者を対象とした交流の場づくり」の主な意見

- ・高齢者のサポート体制と地域コミュニティについては、東日本大震災の発生後、かなり状況が変わってきている。
- ・特に震災発生時など、有事の際の対応については、独居の高齢者などには混乱が多く、周囲が「備え」をサポートすることが重要。
- ・部会の取り組み内容について、目的や方針は基本的に変える必要はないが、方向性として、震災時の高齢者対策などを検討していくべき。
- ・地域や学校でも、震災の発生以降、関連する取り組みを行っているところが多く見られる。
- ・独居の高齢者などだけでなく、子供を含めた周囲に関心を高め、取り組みに参加していってもらうような工夫をしていくべき。

13

2. 専門部会における検討 (1) 高齢者を対象とした交流の場づくり

「高齢者を対象とした交流の場づくり」今後の取り組み案

東日本大震災などのような大規模災害を想定し、独居の高齢者等のケアに資する取り組みの内容を検討した。

現状では以下の2案が挙がっており、今後、具体的な内容について詰めていく。

テーマ	取り組み案の概要
フォーラムの開催	・「震災発生時に困ったこと」をテーマにしたフォーラムを開催 ・高齢者だけでなく、小中学生も含め、高齢者をサポートする側の参加を想定し、意見交換ができるような運営とする(ワークショップ形式なども検討) ・地域教育会議などとの連携を検討
小冊子の作成	・震災発生時において、独居の高齢者などでも安全に避難できるような情報を整理した小冊子を作成 ・小冊子には、避難所の位置などの情報を載せるだけでなく、フォーラム等で挙がった「困ったこと」の回答になるような細かな情報を盛り込んでいく

14

2. 専門部会における検討 (2) 夢見ヶ崎公園の魅力発信事業

(2)「夢見ヶ崎公園の魅力発信事業に関するソフト的な取り組み」の検討

アクセス道の整備など、区のハード整備計画である「夢見ヶ崎公園魅力発信実施計画」の内容が3月末にまとまった。(次項参照)

安心・思いやり部会では、継続テーマとして、夢見ヶ崎公園の魅力発信事業として、特にソフト的な取り組みについて検討していくこととしている。

各委員が具体的な取り組み内容についての提案を行い、その内容を元に検討した。

2. 専門部会における検討 (2) 夢見ヶ崎公園の魅力発信事業

(参考:夢見ヶ崎公園魅力発信実施計画)



2. 専門部会における検討 (2) 夢見ヶ崎公園の魅力発信事業

(各委員からの具体的な提案)

(提案の内容)

委員名	提案の概要
土倉委員	・地元のアーティストに協力を要請し、定期的に野外ライブを実施。ファン層の定着を図り、音楽・踊り・落語など多くの分野の協力を要請 ・夢見ヶ崎動物公園と共催し、子供向けの企画を立て、幼稚園・小学校に呼び掛けを行い、子供～大人を集客 ・定着するまで広報に力を入れ、定着してきたら、掲示板や区役所・日吉出張所のロビーで広報での催し物の案内をする
三浦委員	・広く区民を対象に、記念植樹・植栽・記念ベンチ設置の募集 ・夢見ヶ崎公園を鎮守の森と位置付け、そこを中核として周辺の神社・公園・学校等の緑化活動を推進 ・操車場跡地・多摩川河川敷の緑化活動の推進
酒井委員	・夢見ヶ崎公園では、毎年夏休み中に日吉商店会連合会主催の納涼大会が土日に実施される ・特に中学生による吹奏楽とソーラン踊り、サッカー選手による協議等が催される ・その中に、老人会と区民会議が参加し、交流を深めてはどうか

17

2. 専門部会における検討 (2) 夢見ヶ崎公園の魅力発信事業

(提案の内容)

委員名	提案の概要
松脇委員	・現在、夢見ヶ崎公園で、どのような団体がどのような利活用をしているのか、どんなイベントが実施されているのかをまとめ、ヒントとする。 ・健康増進、子供が遊ぶ、音楽を楽しむ、歴史について学ぶ、地元をPRするなど、目的別にアイデアを考える。
鈴木委員	・新川崎駅前広場や加瀬山周辺のバス停留所等にレッサーパンダやシマウマなど長身大の看板やマップを設置する。 ・動物専門の案内人が、出生地や生態などを説明する。 ・子供を対象とした動物のお絵かき大会を実施、日程を広場に展示してPRする。 ・幸区唯一の観光地として、もっと宣伝してもよい。
林委員	・所属団体の方で、夢見ヶ崎動物公園の慰霊塔前広場において昨年度活動を行った(2010年度:夢見ヶ崎プレーパーク)。 ・水遊び・工作・流しそうめんなど、親子参加型のイベントを定期的に実施した。 ・今年度も、「日吉のわっ」のエコツアーを、8/1に実施する予定。 ・これら活動を具体の例として、林委員から提案について説明した。

18